

東京湾と高雄港の国際歴史比較シンポジウム

浅野総一郎がつないだ

日本と台湾の絆

東京湾と高雄港の築港史を各国の専門家と
港湾関係者でひも解く国際共同研究の試み

プログラム

趣旨説明：「浅野総一郎と後藤新平がつないだ二つの港の絆」

伏見岳人（東北大学公共政策大学院長）

基調講演：「高雄港の百年にわたる発展と変遷」

王 御風（国立高雄科技大学副教授）

通訳 阿部沙織（拓殖大学外国語学部准教授）

報告1：「高雄港におけるまちづくりの戦略と課題—前鎮区を中心とした実践研究」

呉 亦昕（国立中山大学リベラルアーツ教育センター助理教授）

報告2：「『高雄港の娘』とドクトル・マイヤース」

長谷部茂（拓殖大学国際日本文化研究所教授）

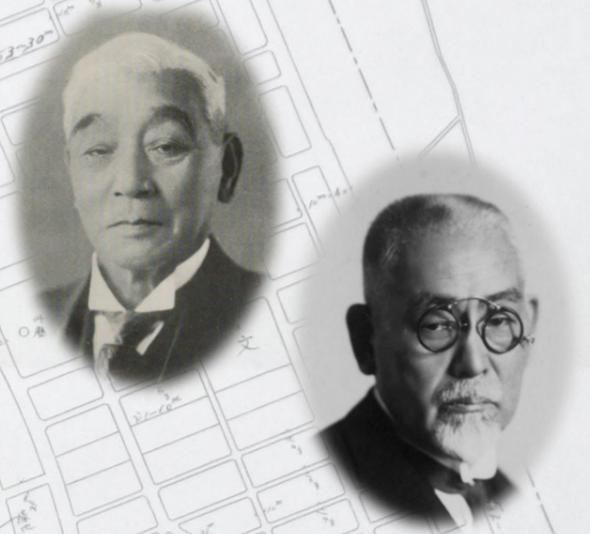
報告3：「『高雄港の父』山形要助とその文書」

稲吉 晃（新潟大学人文社会科学系教授）

報告4：「近代高雄港の港湾施設と生産機能」

陳 雲蓮（群馬大学グローバルイニシアチヴセンター講師）

討論・質疑応答



日時：2025年9月4日（木） 14:00～17:00

会場：拓殖大学国際教育会館（東京都文京区大塚 1-7-1）

3階F301教室

定員：50名（ネットでの事前申し込み制）

共催：2025年度日本港湾協会港湾関係研究奨励助成

「東京湾と高雄港の築港史に関する国際比較分析（研究代表者＊伏見岳人東北大学教授）」

拓殖大学国際日本文化研究所

入場無料

事前申し込み制

参加申し込みは

右記のQRで

申込期限：2025年月日

